

# 「学校と地域・企業等をつなぐコーディネーターのスキルアップ研修」

東青地区:令和3年6月17日(木) 青森県総合社会教育センター第1研修室 受講者数17人(オンライン含む)  
上北地区:令和3年6月18日(金) 青森県立三沢航空科学館 受講者数24人(オンライン含む)

学校・家庭・地域が連携・協働して地域の子どもを育むために、学校と地域住民・企業・NPO・各種団体等をつなぐ教育支援活動コーディネーター等のスキルアップと人財の拡充を図るために実施しているのが本研修会です。

県内6教育事務所管内を、年度ごとに2地区で開催し、3年間をかけて全管内で実施する研修会です。今年度は東青地区と上北地区で実施しました。

今回は、認定NPO法人キーパーソン21 代表理事 <sup>あさやま</sup>朝山 あつこ 氏を講師にお迎えし、「全国5万人以上の子どもたちをわくわくさせたキャリア教育の最前線～キャリア教育プログラムで地域をつなぐ～」と題して、講義・演習をしていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、両地区とも神奈川県と会場を繋ぐ、オンライン研修の形で実施しました。(会場参加と、web 会議システムZoomによるオンライン参加のハイブリッド研修会)



## 1 講義

講義では、参加者に対して「わくわくしていますか？」という質問からスタートしました。「わくわくエンジン」というわくわくして、動き出さずにはいられない原動力のようなものをどうやってもてるようにするのか、なぜ子どもも大人もわくわくすることが必要なのか、などについて学びました。

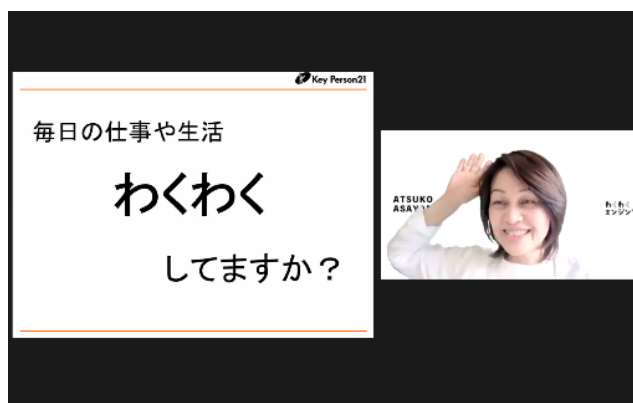
大人がよく使う「呪いの言葉」の例として挙げられた、「何やってんの」「できるわけない」「ちゃんとしなさい」「夢みたいなこと言って」「あなたのために言ってるの」などが、子どもたちがわくわくしない理由のひとつとのことでした。

子どもとの接し方、子どものわくわくエンジンの引き出し方を具体的に学ぶことができる内容となっていました。

予測しきれない未来だからこそ、今ある枠の中に子どもを入れ込むのではなく、今ある枠を超えて「未来をつくる人をつくろう」という活動の核となる部分を知り、未来の可能性を開く案内人「わくわくナビゲーター」の育成など、「わくわくエンジン」が当たり前の社会をつくるということの実現に向けて、全国の子どもたちに対して取り組んでいる事例についても学ぶ機会となりました。

また、キャリア教育でつながる地域づくりについて、島根県江津市江津高校こまつの事例も紹介していただきました。

主役は子ども、きっかけは大人として、主体的になれる一人ひとりを応援し、チャンスをつくるキャリア教育によって、まちの活性、経済活性、みんなの幸せにつながるというこ



【東青会場の様子】



【上北会場の様子】



とでした。

また、「対話型教育循環システムの構築」という地域での自律、持続可能な体制へむけて、子どものやりたいを応援し、発表する・シェアする機会を提供する「わくわくエンジンEXPO」を開催し、本年3月には、全国6地区をオンラインで結び、地域の教育資源や活性化を推進している団体と連動して取り組んでいる事例が紹介されました。



## 2 演習



会場参加者は2～3人でグループを作り、オンライン参加者は、オンライン上での話し合いを行いました。

ワーク「声かけのコツ」では、声のかけ方（プラスの言葉、マイナスの言葉）によって相手がどのように感じるかを体感したり、ワーク「ねばねばからの脱出」では、大人が子どもに対して思いがちな「～せねばならない」「～でねばならない」という発想を転換する工夫について学んだりすることができ、**子供たちに対する自分自身の発言を見直す機会**となりました。

さらに、ワーク「好きなものからわくわくエンジンシートを読む」では、エンジンシートに好きなもの（わくわくするもの）を3つ記入してもらい、「なんでそれを好きなのか」を聞いて書き入れ、その3つの好きな理由から共通するワードやわくわくポイントを見出し、**新たな発見を促したり、将来の方向性を広げたりする体験**を行いました。子どもたちに書いてもらうと、子どもたち自身が気づいていない部分、知らなかった職種などを教えてあげられる機会になり、**子どもたちの「やる気エンジン」をかける**のとこのことでした。将来の夢や職業の幅を広げる体験ができ、**受講者が即実践に生かすことができる**充実した内容でした。



子どもたちが自分の好きなこと、わくわくすることをじっくりと考え見つけることができるようなキャリア教育の必要性や、子どもも大人も一緒にわくわくすることの大切さについて、実感できる演習となりました。

## 3 アンケートから参加者の言葉（一部抜粋）

- ・オンラインでの研修であったが、時間が過ぎるのが早く感じられるほど楽しい研修でした。
- ・今日の話聞いて子供たちの好きなことその理由をどんどん聞いて、わくわくさせたいと思いました。
- ・自分がまず先にわくわくすることが大事だということに気づかされました。
- ・「子供宅食おすそわけ便」で貧困をかかえる世帯との対話も「わくわくエンジン」で元気づけたい。

受講者からは、前向きな感想が多く寄せられ、参加者の今後の活動への意欲を高めることができた有意義な研修の機会となりました。

